

## 新潟県企業短期経済観測調査の概要

(業況感)

- **業況判断 D.I.** は、「良い」超幅が拡大。  
—— 製造業は「悪い」超幅が縮小。非製造業は「良い」超幅が拡大した。

▽主な業種別の変化要因

|      |    | 業種                             | 主な要因                      |
|------|----|--------------------------------|---------------------------|
| 製造業  | 改善 | 輸送用機械、鉄鋼、電気機械、食料品、繊維           | 需要回復<br>価格転嫁の進捗           |
|      | 悪化 | 金属製品、窯業・土石製品、はん用・生産用・業務用機械     | 需要低迷<br>人手不足<br>米国通商政策の影響 |
| 非製造業 | 改善 | 卸売、対個人サービス、宿泊・飲食サービス、電気・ガス、不動産 | 需要回復<br>価格転嫁の進捗           |
|      | 悪化 | 運輸・郵便、情報通信、小売、建設               | 需要低迷<br>人手不足<br>原油価格の高騰   |

- **先行き**については、「良い」超幅が解消する見通しである。  
—— 製造業は「悪い」超幅が拡大する見通し。非製造業は「良い」超幅が縮小する見通し。

(事業計画)

- 2025 年度は、**売上高**が前年を上回る計画である。一方、**経常利益**は前年を下回る計画である。  
—— 経常利益は、製造業、非製造業ともに、コストアップなどから減益計画となっている。
- 2025 年度の**設備投資**は、前年を上回る計画である。  
—— 製造業は、能増投資などから、前年を上回る計画である。非製造業は前年の大型投資の剥落などから、前年を下回る計画である。
- なお、2024 年度の売上高、経常利益、設備投資はそれぞれ前年を上回った。

(その他の判断項目)

- 販売価格判断D. I. は、「上昇」超幅が拡大した。仕入価格判断D. I. は、「上昇」超幅が縮小した。
- 雇用人員判断D. I. は、「不足」超幅が拡大した。
- 資金繰り判断D. I. は、「楽である」超幅が拡大した。貸出態度判断D. I. は、「緩い」超幅が拡大した。借入金利水準判断D. I. は、「上昇」超幅が縮小した。

以 上